

〈解答〉

① 1 ウ

2 ② エ ③ カ

3 (1) エ

(2) 【例】豆類と小麦の食料自給率が少し回復していること (22字)

配点 各2点 10点満点

〈解説〉

①

1 日本の食料自給率を示している【資料1】に注目する。①の直後には「大きく減少している」とあるので、【資料1】中で最も顕著に食料自給率が減少している部分を探すと、1985年を境に大きく減少していることがわかる。よって、ウが適当である。

2 【資料2】は食品別の食料自給率を示し、【資料3】は国民1人が1年あたりにどれだけの食料を消費しているのかを示している。【資料2】から、②には魚介類とともに自給率が大きく低下している、エ「肉類」が入るとわかる。また③は、【資料3】から消費量が年々減少しているのが野菜と米だとわかり、③の前には「野菜や」とあることから、カ「米」が入る。

3 (1) 対策とは、食料自給率を上げるための対策である。【資料1】に注目すると、食料自給率改善のための対策の効果が2015年以降に表れており、自給率が改善傾向にあることがわかるため、エが適当である。

(2) 食品別の食料自給率を示す【資料2】に注目する。この中で自給率が上がっている食品は「豆類」と「小麦」である。「豆類と小麦の食料自給率が少し回復していること」を理由に、山下さんは「対策が実を結んでいる食品もある」と推察したのである。